

平成23年度 第4回京都市公共事業評価委員会 議事概要

第4回委員会では、平成23年度再評価及び事後評価対象事業に係る委員会意見の取りまとめを行いました。

1 日 時 平成24年1月16日（月） 午後2時00分～2時30分

2 場 所 京都ガーデンパレス 2階「祇園」

3 出席者

(1) 委員

小林委員長，荒川副委員長，大山委員，奥谷委員，川浦委員，佐伯委員，徳久委員，十倉委員

(2) 市職員

建設局長，土木技術担当局長，建設企画部長，建設企画部担当部長，道路建設部長，水と緑環境部長，事業推進室長，事業推進室担当部長，都市計画局住宅室担当部長，ほか関係職員

4 内 容

これまでの評価委員会での審議を踏まえ、意見を取りまとめたものについて、内容の確認を行い「平成23年度公共事業の評価に関する意見書」として取りまとめた。

この意見書を京都市長に提出することで、評価委員会から京都市への意見具申とする。
委員会における質疑応答は、以下のとおり。

・平成23年度公共事業の評価に関する意見書

<事後評価>

(2) 街路事業 大原通

委 員： 文章中に「歩行者や自転車の利用者が増加したことや」とあるが、前回の審議で事業前と事業後の交通量は、必ずしも条件が同じでなかったため、比較にならないのではないかとということがあった。そのデータ以外で利用者が増加したという何かがあったのか確認したい。

京都市： 特段別の方法で確認したということはない。調査した時期が1ヶ月ほど事前と事後でずれていた。確認が正確にされていないこともあるので、本文中の「歩行者や自転車の利用者が増加したことや」ということについて、原文から削除というのはどうか。

委 員： 「歩道と車道が分離したことで、歩行者や自転車の利用者が安全で快適な道路空間が確保され」というのはどうか。

委 員： そのように修正したい。確認で読み上げて。

京都市： 「本事業の完成により、歩道と車道が分離したことで、歩行者や自転車の利用者にとって、安全で快適な道路空間が確保され、混雑時の平均旅行速度が向上するなど」以下同文。

委 員： 今の通り修正する。

